

# 生活創造空間

「生活 創造 空間 にし」

平成 23 年度を迎えて

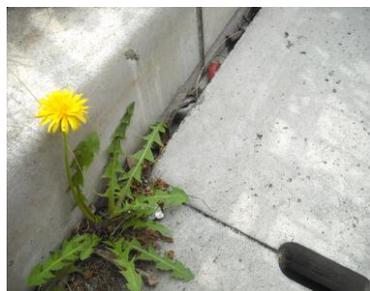
生活創造空間にし 館長 渡辺幹夫

# にし

NISHI

～アンラシネを目指します～

第 6 号 2011 年 4 月 10 日発行



いのち…祈る

国内観測史上最大のマグニチュード (M) 9 を記録した東日本大震災。大規模な津波、土砂崩れ、建物倒壊、火災そして原子力発電所の事故等。誰も想像・人智を超えた災害がやってきました。まだまだ進行中ですが。意識的に立ち止まり詩人の長田弘さんではないですが「深呼吸の必要」が必要な時かもしれません。震災前を思いおこしながら現在を見て。そして目をつぶりながら深く深く空気を吸いこみそして吐き出して。目の前の事実がどう見えてくるのか。あわせて心身もみつめて。そんな所から小さな一歩でしょうか。

平成 21 年 6 月多くの人に祝福されて出発した「生活創造空間にし」が 3 才を迎える年になります。就労サポートセンターエヌクラブと地域活動ホームガッツ・ビーと西の 2 施設で歩いた道がどんなふうになっているか。協働施設としてどんなことをやってきたのか。改めてこの 2 年の積み重ねを評価しながら……。また新しい道を創っていきたいと思います。

ランチコンサート 夜の邂逅コンサート 生活創造空間にし研修 地域フェスタ 地域会議への参加 公園清掃 地域販売会そして同じ頃に巣立った「西区自立支援協議会」。それぞれ「就労」「地域活動」の場を大切にしながらも、共に・一緒にいてねいに積み重ねてきたような。そんな気持ちがあります。

例えばランチコンサートは本当に面白いものになってきました。プロの方あり地域の方あり。また飛び込みの方あり。様々な方々に出会うことが出来ました。最新ではタップダンサーの方の出会いも。そんな思いがけない出会いをこれからも大事にしていきます。

これからも地域の方々と一緒に歩きながら 3 才になっていきます。最後になりますがこの 6 月をもって館長として熊井さとみ 副館長として阿部浩之が就任します。私は退職するわけではなく「きゅうかんちょう」としてささやかに支えていきたいと思っています。

これからも「生活創造空間にし」をよろしくお願い申し上げます。

## 東日本大震災被災者支援のための募金について【募集期間：5月18日まで】

東日本大震災により、多くの方がお亡くなりになるなど、東北地方の太平洋沿岸部を中心に壊滅的な状況に陥っております。現地の被災者の方等の支援を行うため、横浜市が行う募金活動に協力し、生活創造空間にしでは 1 階事務所前カウンターに募金箱を設置致しております。募金していただいたお金は、横浜市より義援金として被災地に送金するとともに、募金の一部を被災地の要請に基づく物資等の支援に活用致します。また、物品はお受け付け出来ませんのでご理解のうえ、募金をお願いいたします。



# 寿司食いねえ！



今回は西区内にある障がい関係事業所が協力しあって行っている仕事についてお話しさせていただきます。  
横浜市西区戸部にある「築地銀しゃり みなとみらい店」より仕事をいただき、平成22年10月よりスタートしています。どのような感じで仕事をしているのかちょっとのぞいてみましょう。

## 西区内のどの事業所が参加しているの？

西区役所からの紹介で、西区地域自立支援協議会（広報誌第3号に詳しい説明があります！！）に参加している施設に声をかけ、以下の10団体で協力し合って仕事をしています。

（参加している事業所）

エヌ・クラブ（浜松町）、みらい工房西（藤棚町）、はーと工房（伊勢町）、無限夢工房（平沼）、どリーむ横浜2番館（平沼）、ゆめづくり3番館（久保町）、さらい工房（東久保町）、西区地域活動ホーム（伊勢町）、ペぱあみんと（浜松町）、ガッツ・びーと西（浜松町）

## どんな仕事をしているの？

### ・チラシのポスティング

ポスティングを行っている範囲は西区久保町、中央1・2丁目、南浅間町、平沼、岡野町、境之谷、東久保町、元久保町、保土ヶ谷区西久保町です。さあ、あなたの街にもポスティング隊がお邪魔するかも…。

### ・無料券のホチキス留め

チラシに、たい焼き・豆乳デザート・手羽元レモン焼き・ソーセージ5点盛等の無料券をホチキスで留めます。毎回、何が無料になるのか？楽しみにしながら皆で留めています。

### ・冬季限定！箸セット

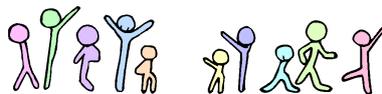
1人前・3人前・5人前の箸・醤油・お吸い物・ペーパー・無料券を袋の中にセットする仕事です。きれいにセットするのって結構難しいんですよ。

まだまだ落ち着いて仕事ができているとは言えませんが、ひとつひとつゆっくとやっっていこうと思っています。西区はそれほど事業所は多くないですが、それぞれのつながりは深いと思います。このつながりを大切にこれからも仕事を広げていきます！

\*\* 皆さんも美味しいお寿司はいかがですか。 \*\*



## 第4回 聴覚障害の特質とコミュニケーション



エヌ・クラブ 熊井さとみ

生活創造空間にし 第4回の研修は、横浜市西区聴覚障害者協会会長の小島 天（おじま たかし）さんのお話でした。小島さんは聴覚障害者の立場から日常の不自由さについてのお話をさせていただきました。併せて東日本大震災でどのような不自由さがあったか、またどのようなことが役立ったかお話をさせていただきました。小島さんは先天性難聴で、小さい頃はふうせんや、ろうそくの振動で「音」を感じながら、声を出すことを練習していたそうです。当日の研修では、パワーポイントとホワイトボードの筆談を用いてお話させていただきました。とても分かりやすかったです。情報の60～70%は聴覚から入るとのこと。私たちは多くの情報を耳から入れていることを改めて知り、日頃から音のない日常の中で暮らしている聴覚に障害のある方の不自由さを知ることができた研修でした。東日本大震災では、ツイッターとフェイスブックそしてテレビ電話が小島さんにとっては情報収集として役に立ったとおっしゃっていました。しかし、高齢の聴覚障害者の方等にとっては情報収集するツールを持っていないことや、停電になればパソコンも使えないわけで、結局は地域における情報弱者の連絡網の徹底が重要、とお話されていました。

地域での連携が障害のある方の安全を守る手がかりであることを教えて頂きました。

お仕事帰りのお疲れのところでしたが、さわやかな笑顔でお話をさせていただきました。改めて感謝します。

このマーク、みんな知ってる？→こたえはこのページの一番下！

1



2



### 西横浜駅側アプローチ工事を行っています。

東日本大震災時に陥没した西横浜駅側通路の修理工事を4月7日から行っています。みなさまにご不便をおかけしておりますが、この広報誌がみなさまの手元に届くころには復旧予定であります。



#### 【上段マークのこたえ】

1：（聴覚障害者の運転者マーク）

2：（共通玩具）聴覚に障害のある子供たちと楽しめるおもちゃ

# ～「生活創造空間にし」では音楽が流れます～

エヌ・クラブ 鈴木 和人

今回は、報告を2つ！

2010年12月17日(金)19時 第3回となる

「全員参加型～Xmas concert～」が開催されました。

ヴォイスアーティストのかなさし庸子さんとピアノは伊澤 知恵さん、

そして愛を運ぶ合唱団がクリスマスに相応しい心温まる歌声を聴かせてくれました！

多くの方の歌声は迫力があり、会場が震え1つの異空間となりました。

楽しいひと時をありがとうございました！みなさんに感謝です。



かなさし庸子さん

2011年3月4日(金)18時 第4回となる「にしよこ寄席 其の2」が開催されました。

其の1は昨年10月2日(土)に福祉フェスタの中で行いました。

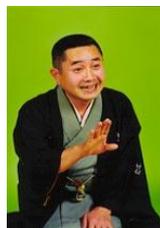
たくさんの方に来て頂き好評だったので今回は第2弾でした。

「金原亭 馬の助さん」「三升家 う勝さん」のお二人に来て頂き

それぞれ2席やって頂きました。馬の助さんは百面相をやってくださいました。

てぬぐいなど小道具を使い様々な顔を変えて見せる寄席芸です。

たくさんの方に間近で本物の落語を見て、聴いて頂き良かったです、またやりたいです～。



きんげんてい うま すけ  
金原亭 馬の助さん



みますや かつ  
三升家 う勝さん

## さてさて、第5回のステーション邂逅は



川名祥哉さん

2011年4月28日(木)18時

ヴァイオリンとピアノによるコンサートです。

プロヴァイオリニストの川名祥哉(かわなまぢや)さんをお迎えしてみなさんで春の夜風を感じましょう!! 「邂逅...それはめぐりあい...」

腹黒日記～黒々なるままに～ ☆やさしさにふれる☆

こんな時だから、みんなのやさしさにふれる。いつもは日本バッシングばかりしている中国版ツイッター「ミニブログ」でたくさんの方が踊っている。被災地において、世界中から日本人の公共マナーの良さが称賛されている。

イチローは1億円、安室奈美恵は5千万円…。牛乳がないので、飲むヨーグルトでフルーチェを作ったら案外おいしかった。

仁科亜紀子が38歳で子宮頸がんを発症した事を何度も何度もカミングアウトされてもいららない。

こんな時だから、みんなのやさしさにふれました。東北地方太平洋沖地震の被害を受けた方々に心からのお見舞いを申し上げます。私も今自分にできることを精一杯やりたいと思います。(腹グロール)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・びーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)